

# 防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会  
会報 第28号(2009 06 30)  
事務局川西地区自主防災会

## 土砂災害警戒情報について

### ☆はじめに

日本は四方を海に囲まれ湿った空気が入りやすいため、世界の中でも降水量の多い国となっています。なかでも出水期といわれる6月から10月にかけては、梅雨前線による大雨や台風の襲来などにより毎年のように日本のどこかで大きな土砂災害が発生していることはテレビなどで目にしたことがあると思います。香川県でも平成16年に多発した土砂災害は記憶に新しいところです。

### ☆土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報は、大雨警報が発表されている状況で、土砂災害の危険度が非常に高まったとき、市町村長が避難勧告を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、対象となる市町村を特定して県と気象台が共同で発表する防災情報です。香川県では、平成19年6月から土砂災害警戒情報の運用をしています。下の情報例を参照ください。

### ☆土砂災害警戒情報の利用上の留意点

土砂災害警戒情報は、降雨から予測可能な土砂災害のうち、避難勧告等の災害応急対応が必要な土石流や集中的に発生する急傾斜地崩壊を対象としています。しかし、土砂災害は、それぞれの斜面における植生・地質・風化の程度、地下水の状況等に大きく影響されるため、個別の災害発生箇所・時間・規模等を詳細に特定することはできません。また、技術的に予測が困難である斜面の深層崩壊、山体の崩壊、地すべり等は、土砂災害警戒情報の発表対象とはしていません。

### ☆早期避難が重要

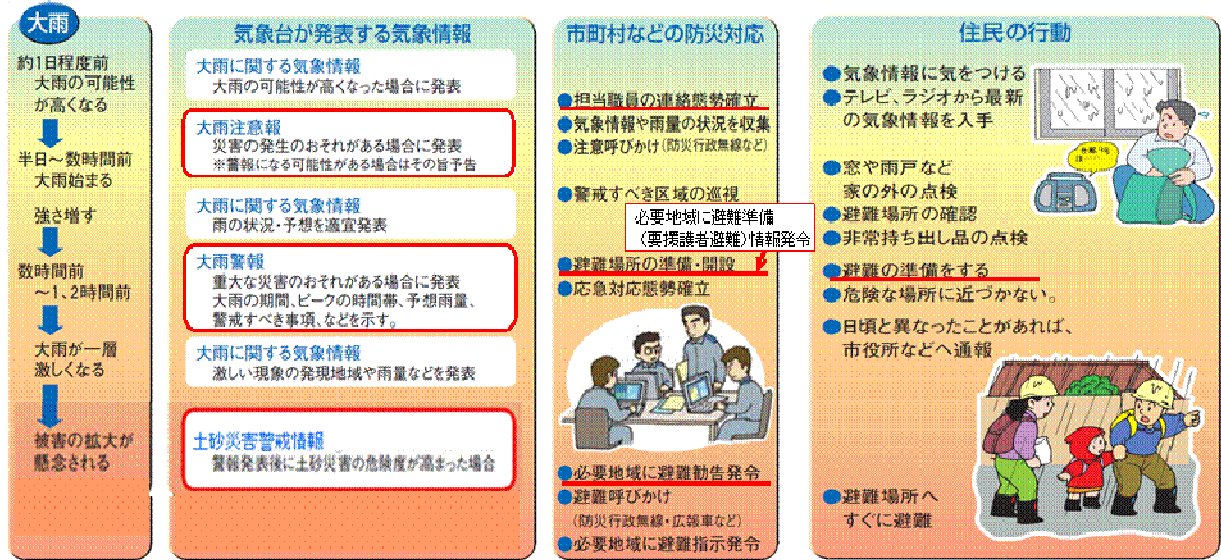
土砂災害警戒情報が発表されていなくても、斜面の状況には常に注意を払い、異様な音がする、川が異常に濁り流木が混じるなど普段とは異なる状況(一般に「土砂災害の前兆現象」と言います)に気がついた場合には、直ちに周りの人と安全な場所に避難するとともに、市町村役場等に連絡してください。

「自分の身は自分で守る」が基本です。この情報は土砂災害の危険から身を守るために利用していただくことを目的としています。「備えあれば憂いなし」日頃から危険箇所や避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。



☆ 大雨警報及び注意報と土砂災害警戒情報の例と住民の方の行動について

これらの防災気象情報は県の防災部局等を通じて市町へ、また、報道機関等の協力を得て住民のみなさまのもとへ届けられます。それぞれの状況に応じた防災対応に活用してください。



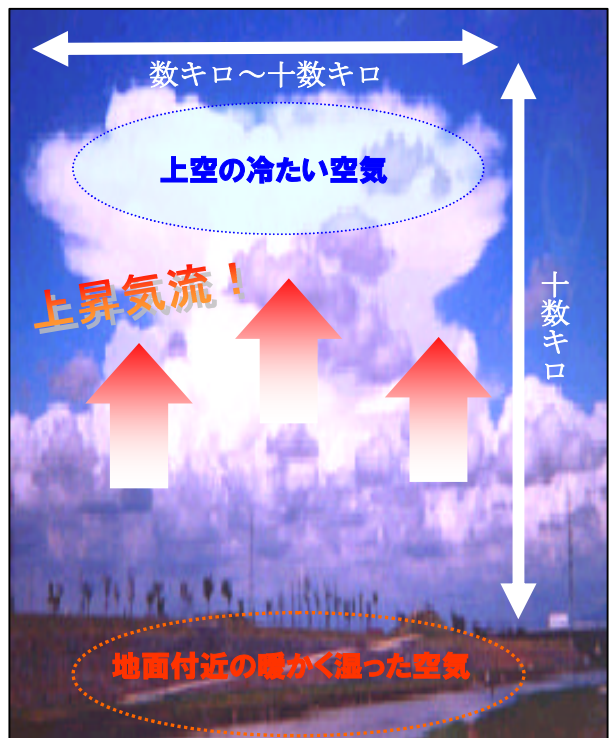
局地的大雨から身を守るために

「さっきまで晴れとったのに?」、「なんで急に真っ暗なん?」といった経験はありませんか?

2008年夏、発達した積乱雲により局地的に大雨が降り、神戸市都賀川の増水事故等、各地で局地的な大雨による自然災害が多発しました。テレビや新聞等では、この現象を「ゲリラ豪雨」と呼んでいますが、気象庁では「局地的大雨」という名称で統一し、「積乱雲(雷雲)により狭い範囲で短い時間に降る強い雨のこと」と定義しています。一方、集中豪雨は、気圧配置や地形効果により、積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返すことにより激しい雨が数時間に渡って降

り続き、ごく狭い地域で数百ミリもの雨量となります。右の図は、大雨をもたらす積乱雲のメカニズムを示したものです。個々の積乱雲の大きさは、高さ十数キロ、水平方向には数キロから十数キロの広がりを持ちます。

積乱雲が発達する条件としては、大気の状態が不安定、すなわち「大気下層へ暖かく湿った空気が流入すること」及び「大気上層へ冷たい空気が流入すること」です。こうした



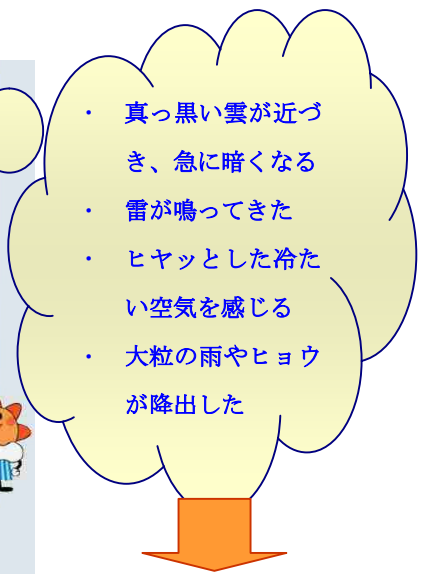
積乱雲のメカニズム

条件下では、暖かく湿った空気は軽いので上

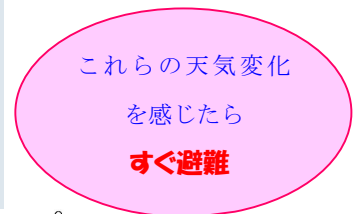
昇し、上空の冷たい空気に冷やされて雲が作られ、発達すると積乱雲となります。

気象庁では、2008年夏に発生した局地的な大雨による自然災害を踏まえ、事故や災害の犠牲者を一人でも少なくするために、「雷注意報」の注意警戒文に「急な強い雨（に注意）」を加えて突発的な雨の強まりに対して注意を呼びかけています。また、リーフレット「局地的大雨から身を守るために」により、「最新の気象情報を確認する」、「気象変化の様子を観察し危険を感じたら即避難する」ことを呼びかけています。

大雨シーズンに向かうこれから、海や山などに出かける前には、テレビやラジオ、インターネットや携帯電話で気象情報を確認し、「大雨が降ったら？」「川の水位が上昇したら？」といった想定を日頃より考え、現地での天気や川の水位などの急変に備えることが大事です。



局地的大雨によって...



※ 事故や災害が発生するまでの時間は、雨の降り方や環境によって異なります。

リーフレット「局地的大雨から身を守るために」

なお、各種気象情報については、気象庁のホームページより確認できます。

気象庁 HP : <http://www.jma.go.jp>

高松地方气象台 HP : <http://www.osaka-jma.go.jp/takamatsu/takama01.html>